

## ワンポイントアドバイス

### こどもの発熱と休日・夜間の受診

川口市立医療センター

小児科 まえだ よしちか  
**前田 佳真**



冬はクリスマスやお正月など楽しいイベントが多いシーズンですが、風邪も多くなりますし、熱を出すことも珍しくありません。お子さんが発熱したとき、休日や夜間に病院を受診するタイミングをお話しします。

お子さんが熱を出せば、親なら誰でも心配になるもの。でも焦らないで。まずはしっかりと状態を把握。38℃以上の発熱で次の項目に当てはまるようなら、病院を受診しましょう。

- ①生後3カ月未満 ②ぐったりしている ③ずっと水分をとらない
- ④おしっこがいつもより少ない ⑤ずっとウトウトしている
- ⑥けいれんして意識がなくなった

生後3カ月未満の赤ちゃんは体力もなく免疫も未熟。ずいまくえん 髄膜炎や敗血症などのことも考えられます。2回お熱を計って、38℃以上が続くようなら病院を受診しましょう。

生後3カ月以上のお子さんは、②～⑤が当てはまれば病院受診を。熱の出始めは大人でもぐったりするものなので、しばらく様子を見てもぐったりしていたら病院を受診しましょう。熱が高くても重症というわけではないので、上の項目に当てはまらなければ受診する必要はありません。

また年齢に関係なく、けいれんして意識がない状態になった場合には、けいれんが止まっても病院受診を。けいれんが5分以上続いているようなら救急車を要請(☎119)しましょう。

今回のお話はあくまでも目安です。判断に困ったら「こども医療でんわ相談(☎#8000)」で電話相談ができますし、「こどもの救急」(<http://www.kodomo-qq.jp/>)も参考にしてみてください。

